

## 「教育相談等に関する調査研究協力者会議」中間まとめ(概要)

### 設立趣旨



- 教育相談における新たな取組である小学校へのスクールカウンセラーの配置や、スクールソーシャルワーカーの配置及び24時間電話相談についての調査研究し、学校等における教育相談活動の今後の方向性を示す。

### 中間まとめ

#### ◇「24時間いじめ相談ダイヤル」の現状と課題

- 夜間・休日の利用の割合については、平均して6割以上であり、総じて高い割合となっており、また、解決事例も報告され、概ね有効に機能
- 複数の自治体において専門性を持った人材や、予算の確保が困難
- 夜間・休日の時間帯では、教育委員会が直接実施するのではなく、民間業者に委託したり、関係機関と連携している割合が少ない。
- 夜間・休日の時間帯では、相談員の配置が一人体制であるケースが多い。  
そのため、夜間・休日の時間帯を一人で担っているなど、特定の職員に負担が集中。
- 財政事情が厳しい中、夜間・休日を含めた相談体制をどのように継続・維持していくかが課題。



#### ◇改善方策

- 民間で実施する電話相談と教育委員会など、行政が実施する電話相談は社会から期待されている役割や開設時間に違いがあり、子どもたちにとってはどちらも重要なもの。したがって、24時間電話相談体制を維持していくことが必要。
- 民間法人の持っている電話相談についての専門性・実績を評価して、業務委託していくことも積極的に検討。
- 民間法人と連携する場合においても、児童生徒の問題行動等への対応・その解決を図るという機能は重要であることから、一定のルールやガイドラインを定めるなど相応の配慮が不可欠。
- 専門性を有し、実績があり、信頼できる民間法人と業務の委託や相談員の養成や研修について積極的に協力依頼をし、連携することも一つの方策。

### 今後の検討

#### ○スクールカウンセラー

- ・スクールカウンセラーに求められる資質
- ・スクールカウンセラーの校内及び関係機関との連携体制
- ・スクールカウンセラーの活用の在り方

#### ○スクールソーシャルワーカー

- ・スクールソーシャルワーカーが備えるべき知識・経験
- ・スクールソーシャルワーカーの学校内外における活動の在り方



#### ○教育相談体制の充実のための連携の在り方について

- ・学校内の教育相談体制の充実（役割分担）
- ・学校と学校外の相談機関との連携方法



平成21年3月に最終報告